

第二五回東海財界倶楽部 キャッチネットワーク社長を招いて

東海地方で活躍する経済人などの異業種交流会「東海財界倶楽部」の二五回目となる例会がホテルオークラレストランで四月二十五日に開かれ、会員約三〇人が参加した。

今回の講師には、愛知県刈谷市に本社を置くケーブルテレビ局「キャッチネットワーク」の森雅

博社長を招いて、「儲かる働き方、働かせ方」と題する講演を行なわれた。

森氏は、自身の体験から学んだ経営感覚に基づいての講演で、現在の日本では多くの会社が間違った働き方、働かせ方をさせているのではと感じ、働き方を正常化することで儲かる会社にできるとい

う。

「新しいお客さんを獲得するためには、人もコストも導入しなければなりません。解約されるお客さんのことはあまり考えていませんでした。とにかく解約されるよりも獲得する方が上回れば大丈夫と業界では一般的なものになっていました。新規で獲得するため

のコストも考えますと、私はこれが正しいものかと感じており、お客様にとって一番最適な利用条件を整えたりするサポートを充実させました。これにより解約されるお客様が減り、この上で新規獲得にも効果が現れてきました。これにより社員のモチベーションも変わってきます。また、社内の働き方も形ばかりに捉われて整えて行くのでは生産性の高い会社にはなりません。しかし、生産性の高い会社を目指していけば、自然と合理的になって行くと思います」



講演を行うキャッチネットワーク・森雅博氏



挨拶をする駐名古屋大韓民国総領事館・南宮煥氏



乾杯の発声をする佑愛学園・丹羽一司氏

講演終了後、休憩を挟んだ後、懇親会へ移っていった。はじめに駐名古屋大韓民国総領事館副総領事・南宮煥氏が韓国フェスティバルの成功の報告、感謝の言葉を述べた。

その後、佑愛学園理事長・丹羽一司氏が乾杯の発声を行い、会員らは懇親を深めた。